

科目名	論理国語		学年	類型・コース	単位数
			3年	自由選択2・普通	2単位
学習の目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、論理的、批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。				
教科書 副教材	主たる教材：「新編論理国語」（大修館書店） 副教材：「新国語総合ガイド」（京都書房）「明鏡国語辞典」（大修館書店）				
評 価	評価法	定期考査・小テスト・各種課題・ノート等で評価します。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	
		b	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時 数	学習項目・ 単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学 期	4 月	6	鷺田清一「補助線 を引きながら考える」 筆者の主張を読み 取る。	筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取るとともに、読み取ったこ とをふまえて、自分の思いや考えを深める。【読むこと】	定期 考査 小テ スト	定期 考査 課題	ノート 課題
	5 月	8					
	6 月	8	清岡卓行「ミロの ヴィーナス」 根拠を吟味する。	筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。論理の展開や 比喩的な表現の意図をとらえる。【読むこと】			
	7 月	4	自己を客観的に見 つめよう	自己を客観視し、整理してわかりやすくまとめる。【書くこと】			
夏休み				1 学期の内容をもとに課題			
2 学 期	9 月	8	志望理由書・自己 推薦書を書こう	必要な情報を集めそれらを適切に結びつけて、相手の印象に残る 志望理由書を書く。自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説 得力のある自己推薦書を書く。【書くこと】	定期 考査 小テ スト	定期 考査 課題	ノート 課題
	10 月	8	長谷川眞理子「人 類の進化から考える『心』の誕生」	複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。筆者の主張 を的確にとらえ、自分の意見を持つ。【読むこと】			
	11 月	8	石黒浩「ロボット に心はあるか」				
	12 月	4	複数の文章を読み 比べる。	複数の文章を読んで考えたことを、論点を明確にして書く。【書く こと】			
冬休み				2 学期の内容をもとに課題			
3 学 期	1 月	6	河合雅司 「未来の地図帳」	日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり、深め たりする。本文中の数値や地図を的確に読み取り、筆者の主張をつ かむ。【読むこと】	学年末 考査 小テ スト	学年末 考査 課題	ノート 課題
	2 月		身近な課題に関心 を持ち、考えを深 める。				
	3 月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）

論理国語では「書くこと」「読むこと」それぞれの力の育成を目指します。忘れ物や課題の提出状況は、評価に大きく影響します。積極的な授業への参加を期待します。